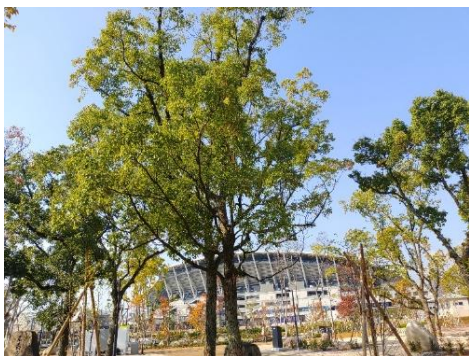


街歩きヒストリア



柔らかな日差しに包まれてくつろぐ人々を見守る、
広高の森

広高の森

基町

中央公園東側一帯は、木々の緑に彩られたオアシス。木立の陰には「広高の森」と刻まれた記念碑があります。広高とは大正13(1924)年から戦後まで南区にあった「(旧制)広島高等学校」の略称です。

同校は、建築家の丹下健三さんや作家の阿川弘之さん、歌人の近藤芳美さんら優れた人材を輩出。暖かく見守ってくれた広島市民に同窓生が感謝の意を込めて贈ったのが、この広高の森という樹木の空間です。付近には恩師達が詠んだ歌や句を銘じた石碑もあります。

この森に込められた同窓生の謝恩と慰霊の気持ちが、葉擦れの音から伝わってくるようです。



芝生ひろば東側の「広高の森」記念碑。裏面には「森を贈ることば」として、この森ができた経緯を記しています。

(文・写真 柴田 篤さん)



中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。